

# 地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2017/04/26 (水) 発行

校長通信 NO.2  
北海道日高高等学校  
町田英謙

## 初任段階教員研修連絡協議会報告

4月14日(金)に日高合同庁舎で初任段階教員の連絡協議会がありました。本校も2年次研修で岩城先生、坂本先生、そして1年次研修では小高先生が該当となります。

この制度が制定され4年目、教員の基礎となる初任段階での研修制度であります。これからの我が国や地域を支える生徒の人材を育成していくためには、教員の力がいかに大切かは言うまでもありません。自分が初任者の頃は先輩教員から様々なことを学んだ記憶があります。現在、高校状況を考えると小規模校が約4割、本校で考えても教科1名体制を考えると研修体制が手薄になっていることは間違えありません。

さて、今回も日高管内で33名の初任者が採用されました。うち6名が高等学校の採用です。教員は生徒と接し、ともに人間として成長できる素晴らしい職業として、門出を祈念します。

今回の協議会で新採用から1年間は教員としての資質能力を測る期間として「条件付き採用」となっていますが、晴れてこの4月に正式な採用となった岩城先生、坂本先生、「本当におめでとうございます。」素晴らしい先輩方に囲まれ、最高の職場環境で教員としてのスタートを切れたことは申し分ありません。教員に力量を発揮してください。

さて、研修会の中で「メンター制度」について説明がありましたので紹介します。

### 「メンター制度」

メンター制度とは、会社や配属部署における上司とは別に指導・相談役となる先輩社員が新入社員をサポートする制度のことをいいます。メンターとはもともと助言者という意味であり、年齢や社歴の近い先輩社員が、新入社員の仕事における不安や悩みの解消、業務の指導・育成を担当します。

近年の教育改革の潮流は早く、キーワードは「教職員の資質向上」であること。横並びの時代は去り、一人一人の英知を集め、この難局を乗り切っていきたいものです。しかし、現実を直視する上では、その道程は険しいと言わざるを得ない実態もあります。教職員の強い連携と協働体制の中で、学校現場はある意味厳しい選択を迫られています。5年先、10年先を予測し、現状からのステップアップを総意として持ち続けてください。

## 本校が目指す教育

### (1) 生徒が自ら学習する姿勢を育て学力向上を図る

生徒にとって学校生活の大部分は授業。授業の充実が高校生活充実の最大の鍵となる。シラバス、授業評価、授業研究のサイクルによる授業改善をお願いします。

### (2) 豊かな感動体験、克服体験を通して、生徒が人間的に成長できる支援をする。

子供たちが互いに思いやり、支え合いながら社会の一員として生きていくためには、健やかな心身の成長と発達、極めて重要である。「高ークライシス」といった中高のギャップによる進学直後の心の悩み不登校やいじめ等への未然防止や人間関係づくりのための教育相談の充実などに支援をお願いします。

### (3) 安全・安心な教育環境、信頼感のある学び、安定した学校を目指す

子供たちの発達段階に応じた道徳教育の充実を図り、規範意識や倫理観を身につけるとともに、情報モラルの育成に取り組むをお願いします。

### (4) 教職員一人一人の力量を組織として大きな力に変え、協働意欲に満ちた活力ある学校づくり

教育課程の編成に伴う取り組みに対する全教職員の共通理解と協働態勢を確立し、教職員が組織として互いに補い課題解決の方策に取り組む仕組みと心構えの確立をお願いします。

### (5) 地域とともにある学校づくりを通して、保護者や地域社会とともに協働して生徒を育てる

学校は、保護者や地域住民の意見や要望を的確な受け止め、家庭や地域社会と連携・協力し、信頼を得ながらその機能を果たすことが重要である。そのために各種評価、HP、各種便り等を活用し保護者や地域住民に説明責任を果たす中で学校運営の工夫改善をお願いします。

## 期首面談について

今年度、自己目標シートに関わるものや学校課題解決に向けて、教育活動全般についての皆さんのご意見をいただきたいと思っております。また、秋以降に本格的に始まる人事協議などについて、現時点の相談事項があれば、自由に来室願いたい。なお、教育活動把握のため授業参観を多く取り入れたいと考えています。

① 学校職員人事評価シートは、教育活動を振り返る貴重な記録の観点から、具体的な記述をお願いします。

<提出は5月初旬です>

② 校長面談の来室はいつでも結構です。

③ 授業参観は、個々に相談して設定します。

④ 自己目標シート「学校設定項目」については、「地域とともにある学校づくり」と設定します。

⑤ 最終面談は1月から3月にかけて全教職員対象に実施します。

新年度を迎え、慌ただしい毎日かと思えます。毎年のごとくとはいえ、希望と不安が交錯している新入生にとって、この時期での先生方の様々な場面での指導や助言は、今後の高校生活にとって大きな意味があります。また、2、3年生も新たな学級経営方針を明確に生徒や保護者に伝え、理解を得る大事な時期です。適切な対応をお願いします。

## 管内校長会を終えて

改めまして日頃から生徒へのきめ細やかな指導、興味・関心を工夫された授業実践に感謝申し上げます。

管内の校長会を終え、平成29年度日高管内、教育推進の重点について報告します。

「夢の実現と未来の創造」となります。そして項目として、「生きる力の育成」「取組を支える体制整備」(職員室へ掲示)となり、ア 学力向上 イ 学習指導の工夫・改善 ウ 生活習慣の定着 エ 新しい時代を切り拓く教育 オ 特別支援教育の充実が一端です。

全道各校には、それぞれの役割があり、それに向け本校の役割を全教職員で共通認識する必要があります。社会情勢は激しく変化する時代を迎えようとしていますが、教育根幹は「愛」です。(クラス目標としている学年がありますが…)学校教育が始まった時代から次世代の国や地域を支える人材育成こそ最も基盤となっていると思います。

教職員の協働体制があって学校の教育活動は成り立っています。一人一人の力を結集して志をひとつに、これからは健康に留意して頑張っていきましょう。

様々な事情を抱えて入学した生徒もいますが、元気で級友、先輩後輩、男女の隔たりなく仲良く生活できていることは一番素晴らしいことです。

保護者の皆様もご安心ください。全校生徒33名、全員元気に学校生活を送っています。